



かじわら
—梶原さん—

農事組合法人さいきの皆さん

「農事組合法人さいき」は、組合員16名で、実際に生産されている方は、4～5名です。玖島地域の農地で、白ねぎや白菜などを生産されています。

現在育てられている白ねぎは、「関雲一本」と「ホワイトスター」の2種類です。「ホワイトスター」は、5月上旬に植え、10月ごろから収穫されます。また、「関雲一本」は6月上旬に植え、12月ごろに収穫されます。

しろ さいばい ようす しょうかい
白ねぎの栽培の様子を紹介します
のうじくみあいほうじん
—農事組合法人さいき—

1 ① 苗を植える（6月）

溝を掘ったところに白ねぎの苗を植えていきます。後で土をかけていくため、溝と溝の間は約1m30cmあけておきます。



2 ② くわで土をかける（6～8月）

白ねぎの苗が伸びてくると、くわで土を根元にかけていきます。くわで土をかけるのは3回行います。

周りの地面より深く植えた白ねぎが、地面より少し高くなっています。



ここにある土を根元
にかけます。



3 ③ 機械（はねあげ）で土をかける（9～10月）

①白ねぎと白ねぎの間の土を耕して柔らかくする。



土を盛る前



②柔らかくした土を跳ね上げて白ねぎにかけていく。これを20～30日に1回行い、合計3回行います。



土を盛った後



白ねぎに盛る土を少しずつ高くしていきます。すると、白ねぎは上に伸び、土をかぶっている白い部分が長くなります。白い部分を30cm以上にするように育てています。

4 ④ 収穫する（10～2月）

①機械で根元を掘り起こします。



②一本ずつ手で抜いていきます。白ねぎに傷が付かないようにゴザにくるんで運びます。



5 ⑤ 出荷する（10～2月）

②空気を強く当てて、土が付いている部分をはぎとります。



③白ねぎの上の部分を切り落とし、太さによってサイズごとに分けてから出荷します。



①根の部分を切り落とします。

「子どもの舌は素直なので、本当においしいものは、おいしいと感じてくれる。純粋な舌をもっている子どもたちに白ねぎの特徴である甘みを感じてもらえるようなものを育てたい。」と梶原さんが話してくださいました。